

令和 8 年第 1 回定例会 9 月会議

一 般 質 問 要 旨

< 9 月 7 日 >		< 9 月 8 日 >		< 9 月 9 日 >	
1 番	青木議員	6 番	太田議員	11 番	茂内議員
2 番	福岡議員	7 番	黒沢議員	12 番	横手議員
3 番	小泉議員	8 番	佐藤議員		
4 番	馬谷原議員	9 番	山田議員		
5 番	橋本議員	10 番	廣田議員		

寒 川 町 議 会

通告順位	1 番	質 問 者	3 番	青 木 博
質 問 事 項		質 問 の 要 旨		
1. 加齢性難聴への支援について		(1) 令和6年9月の一般質問以降における、加齢性難聴の早期発見および支援に関する町の取り組み状況とその評価について問う。 (2) 国および他自治体の動向ならびに県が令和8年度に創設した高齢難聴者補聴器装用推進事業を踏まえ、町の調査・検討状況について問う。 (3) 加齢性難聴に対する今後の支援の方向性および補聴器購入費助成を含む具体的な支援策について、町の考えを問う。		

通告順位	2 番	質 問 者	1 番	福 岡 正 也
質 問 事 項		質 問 の 要 旨		
1. 町の防災・減災対策について		近年、地震や台風、線状降水帯による集中豪雨など、これまでの想定を超える自然災害が全国で頻発・激甚化しており、自治体には災害に強いまちづくりがこれまで以上に求められている。 町においても、相模川や小出川に囲まれた地理的特性に加え、公共インフラの老朽化などさまざまな災害リスクへの対応が課題となっているが、財源や人的資源には限りがあり、リスクを的確に把握したうえで対策の優先順位を明確にしながら取り組むことが重要である。 こうした状況を踏まえ、町が現在どのような災害リスクを重要課題と捉え、国土強靱化地域計画に基づきいかなる考え方で防災・減災対策を進めていくのか、災害時の司令塔となる庁舎の機能維持の在り方も含め、町の見解を伺う。		

通告順位	3 番	質問者	1 2 番	小 泉 秀 輔
質問事項		質問の要旨		
1. 不登校児童生徒に関わる問題解決について		小・中学校における不登校児童生徒については、これまでもさまざまな観点から論じられてきた。学校や教育委員会、民間団体などによってさまざまな取り組みも進んでいるが、今なお不登校児童生徒は一定数おり、その保護者の負担も大きなものとなっている。 児童生徒が不登校になった場合、学習の遅れや居場所なども大きな課題ではあるが、児童生徒の健康管理や人間関係の構築、保護者の負担など、さまざまな問題が発生すると考えられる。 そうした不登校児童生徒に関わる問題解決について、町の見解を問う。		
2. 住居表示制度について		町において、住居表示は一部の地域で実施済みであるが、いまだに未実施の地域も多く残る。住居表示が実施されている地区では、住民にとっても初めて訪れた人にとっても、指し示す建物は分かりやすいが、未実施で地番のみの地域では直感的に分かりにくく、住民であっても周囲の建物の住所がよく分からない、また緊急時にも分かりにくくなっている。 国においても住居表示に関する法律によって住民の利便性などを目的として住居表示の推進が求められているが、町における住居表示の今後について、見解を問う。		

通告順位	4 番	質問者	1 1 番	馬谷原 光織
質 問 事 項		質 問 の 要 旨		
1. 町の小・中学校の教育について		(1) 不登校の状態にある児童・生徒への相談や支援などについて問う。 (2) 先進事例を踏まえた、町の教育の在り方について問う。 (3) 教職員の研修機会と予算について問う。		

通告順位	5 番	質問者	1 3 番	橋 本 修 一
質 問 事 項		質 問 の 要 旨		
1. 脱炭素・カーボンニュートラル施策について		エネルギー価格の高騰が家計や事業者を圧迫する中、世界的な政策動向や温暖化の科学的議論を踏まえ、町における脱炭素施策の実効性および町民・事業者負担の検証について問う。		

通告順位	6 番	質問者	1 7 番	太田 真奈美
質問事項		質問の要旨		
1. 胃がんリスク 検診について		令和8年6月会議において、若年層への検診に効果があるとの認識が示されたが、今後の取り組みについて問う。		
2. 高齢者の難聴 対策について		(1) ヒアリングフレイル対策についての取り組みと課題について問う。 (2) 県の高齢者の難聴対策と連携した町の取り組みについて問う。		

通告順位	7 番	質問者	1 8 番	黒 沢 善 行
質 問 事 項		質 問 の 要 旨		
1. 環境行政について		(1) 可燃ごみ排出量の現状について問う。 (2) 可燃ごみ排出減量化の取り組みについて問う。		
2. 防災行政について		(1) 災害時の水の備蓄状況について問う。 (2) 災害時の水の確保策について問う。		

通告順位	8 番	質問者	6 番	佐 藤 一 夫
質 問 事 項		質 問 の 要 旨		
1. 寒川学校給食センターの運営について		小・中学校の完全給食が実施され3年が経過した。寒川学校給食センターの施設運営について、将来にわたる安定した運営に向け、現状の問題、課題、今後の取り組みについて問う。		
2. 地域の問題・課題の迅速な対応について		道路の劣化や施設の修繕など、さまざまな地域の問題・課題に対する迅速な対応について問う。		

通告順位	9 番	質問者	5 番	山 田 政 博
質 問 事 項		質 問 の 要 旨		
1. 内水氾濫について		(1) 現状について問う。 (2) 対策について問う。		

通告順位	10 番	質問者	8 番	廣 田 淳 生
質 問 事 項		質 問 の 要 旨		
1. 公共施設再編を契機とした町の将来都市構造とにぎわいの創出について		(1) 公共施設再編と将来のまちづくりについて、公共施設再編を単なる施設の更新・集約ではなく、公共資産を活用して将来の都市構造や地域価値を高めるまちづくりの契機として捉える考えを問う。 (2) 公共施設が集積する区域と役場庁舎のあり方について、市街化区域に隣接し、公共・公益的施設が集積する区域において、土地利用の見直しや市街化区域への編入の可能性を含め、役場庁舎を核とした複合的な拠点形成を進める考えを問う。 (3) にぎわい交流創出ゾーンと地域活性化について、「にぎわい交流創出ゾーン」において、行政、福祉、交流、居住等の機能を組み合わせ、官民連携や多様な財源を活用しながら、中長期的なにぎわいと寒川神社周辺への波及を生み出す考えを問う。 (4) 倉見地区を含めた将来都市構造について、倉見地区の新幹線新駅誘致構想も踏まえ、既成市街地側の拠点と倉見地区を相互に補完する拠点として捉え、公共施設再編を契機とした 2040 年以降の町全体の将来都市構造を描く考えを問う。		

通告順位	11 番	質問者	7 番	茂 内 久 代
質 問 事 項		質 問 の 要 旨		
1. 次世代へつなぐ姉妹都市・寒河江市との交流について		寒河江市との姉妹都市交流について、これまでの取り組みや成果を踏まえ、次世代を担う子どもたちの交流をはじめ、子どもから大人まで、世代や分野を越えてより多くの町民が関わることのできる交流へと発展させ、姉妹都市のつながりを町全体へ広げ、町の発展にもつながることの考えを問う。		

通告順位	12 番	質問者	1 5 番	横 手 旭
質 問 事 項		質 問 の 要 旨		
1. 購入データの分析と広報・広告宣伝事業について		今年度、新たにデータ購入した「地域ブランド調査」に対する分析結果と、そこから導き出した今後の取り組みとして、特に広報・広告宣伝事業についてどのような方向性なのか、町の考え方を問う。		